

磐田市の図書館の今

図書館サービスの現状

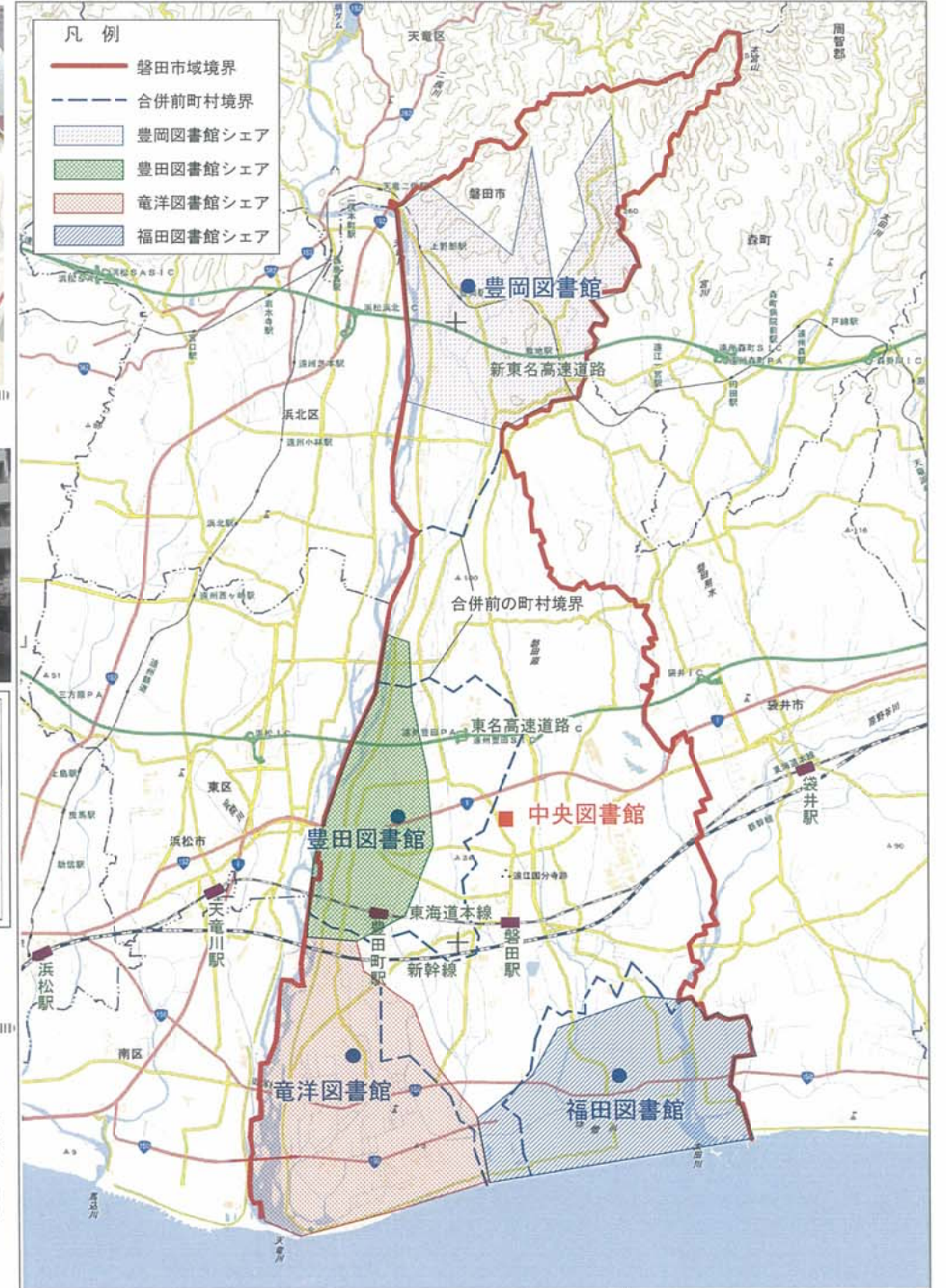
- 合併した5つの市町村にすでにあった図書館を、旧磐田市の館を中央館とし、他の町村の館を地区館としてサービス網をつくり、市域全域へのサービスをまんべんなく行っています。
- 一般成人へのサービスはもちろん、児童やYAに対するサービスも各館で充実させています。
- 市の教育活動と連携したサービスを行っており、学校図書館とも連携を図って、読書運動や団体貸出・出張講習など、様々な事業をとおして子どもたちの読書環境をつくりだしています。
- サービス圏域は右図で見る通り、各館が旧市町村のほぼ中心に位置しているため、効率良く多くの利用者が利用しやすいサービス拠点配置がつけられています。ただし、豊田図書館は旧豊田町の中心地から離れた位置に複合文化施設の一つとして建てられたため、中央館に近い位置に立地し、直接サービス圏域が重なる状態にあり、利用者の多くが中央館へと流れている現象があります。



磐田市立図書館

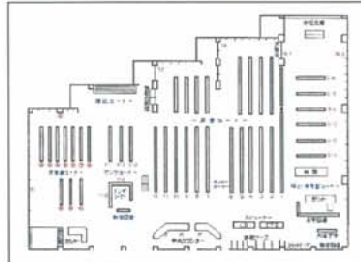


■図書館の吸引力による現状のシェア



- 図書館の規模や開架冊数などを魅力度とし、距離や都市のエッジ（主要幹線道路・鉄道など）などの要素を勘案してそれぞれの図書館のシェアを調べると上図のようになります。（ライリーの法則を準用）（中央館はサービス網としては市域全域となる）
- それぞれの地区館の利用者吸引範囲は、ほぼ合併前の町村域と重なるかわずかに縮小されています。ただし、豊田図書館だけは中央図書館にシェアを奪われ、吸引圏がかなり縮小していることがわかります。
- 図書資料の貸出状況をみると、上図のシェアに比例する利用となっていることが確認できました。（ただし豊田図書館は、入館者数だけは中央図書館の半分近くあります）
- この図により、豊田図書館は中央図書館に距離が近いことから（直線距離で2.4km）豊田図書館のシェアは中央館に奪われ、図書館網が適正に配置できていない状態にあります。
- こうしたことから豊田図書館はその役割を変更し、中央館と機能を分担しながら新たなサービスを行うことが望ましい施設であることが結論付けられました。
- 豊田図書館を「子ども図書館」に変える提案は、こうした条件が背景にありました。

中央図書館



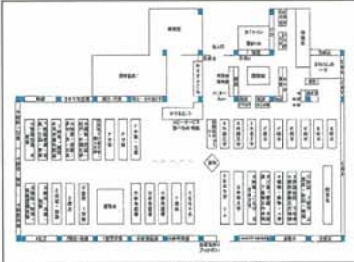
延床面積：3,560㎡（単独館）
蔵書冊数：412,700冊
開架冊数：170,600冊

福田図書館



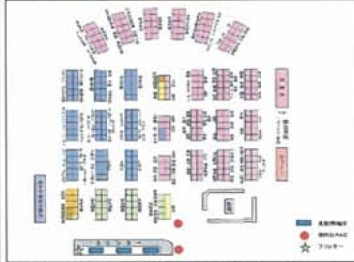
延床面積：1,021㎡（単独館）
蔵書冊数：111,400冊
開架冊数：86,700冊

竜洋図書館



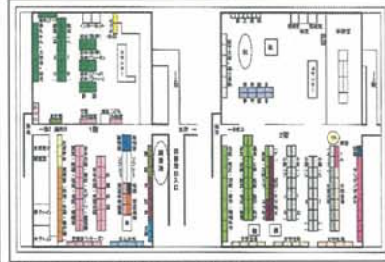
延床面積：967㎡（複合館）
蔵書冊数：134,300冊
開架冊数：95,200冊

豊田図書館



延床面積：2,712㎡（単独館）
蔵書冊数：156,400冊
開架冊数：91,700冊

豊岡図書館



延床面積：510㎡（複合館）
蔵書冊数：66,800冊
開架冊数：48,800冊

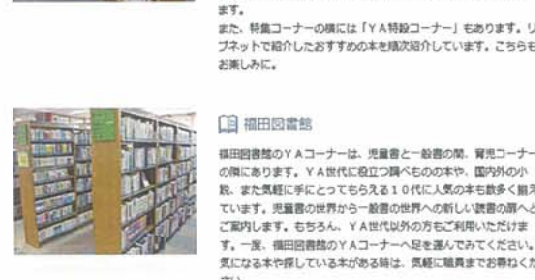
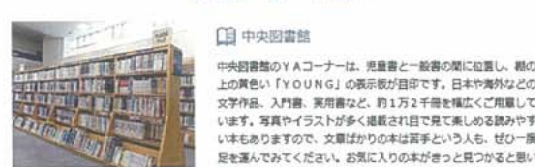
充実した資料のホームページ



子どもへのサービスのほかYAサービスも各館で力を入れています



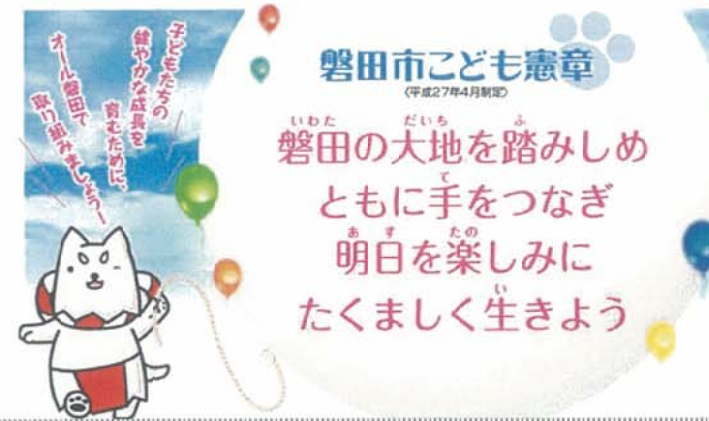
YAコーナー紹介



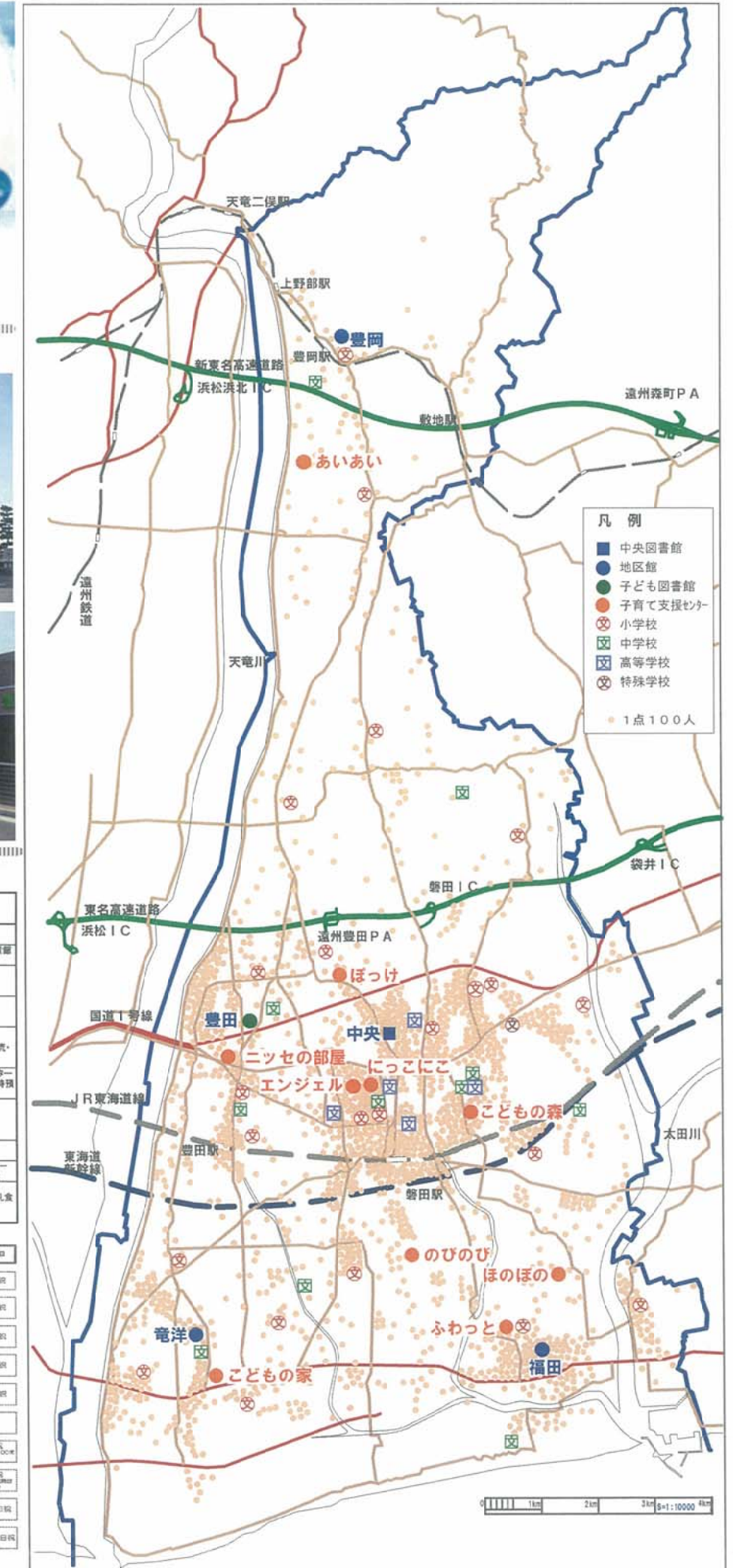
磐田市立図書館
ホームページより

磐田市の子育て支援の今

- 磐田市は若年層を中心とした人口減少を背景に「子育てなら磐田」を標榜し、子育てに力を入れてきました。
- 磐田市では、妊娠期から始まり乳幼児期・学童期まで、幅広い年齢層に渡る様々な「子育て支援」を行っています。
- 内容としては、検診や予防接種などの母子保健に関するものから、各種手当等の給付、子育てについての相談や情報提供、子どもの発達に対する支援など、密度が濃く幅の広い支援サービスを提供しています。
- 未就学児の支援では市内各所に「子育て支援センター」を設置して、乳幼児を中心とし遊びや交流を通して、保護者の育児に関する悩みごとを受け付ける、総合的な子育て支援の拠点としています。
- 子育て支援センターには保育士等の職員が常駐し、遊びやイベントを催したり、おもちゃや絵本などを備えて、子どもの健全な育成の助けとなっていますが、絵本や紙芝居などの資料数には限りがあります。



■子育て支援センターの分布

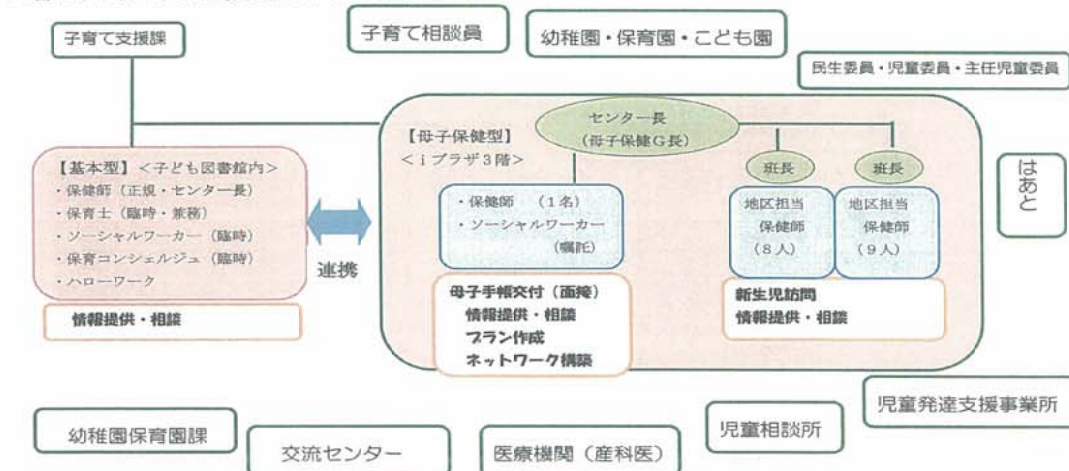


■子育て支援センターによる支援活動



- 写真のように子育て支援センターはそれぞれの施設規模や位置に応じて多様な活動をしています。
- 厚生労働省では「少子化社会対策大綱」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「子育て世代包括支援センター」を整備していくとしており、磐田市でも「母子保健型」「基本型」を実施していく予定です。新たに整備される「子ども図書館」に保健師・保育士・ソーシャルワーカー・保育コンシェルジュなどの専門職員を配置し、「基本型」と位置づけ、包括的な子育て支援を行う計画を進めています。
- 市内10カ所ある子育て支援センターは年間延べ10万人以上の利用者がいます。相談件数も年間1万件近くあり増加傾向にあります。しかし一方で利用者が固定化され、利用しづらいと感じる保護者もいるとおもわれます。また、現況施設は幼児専用便所や相談室などの備わっていない施設もあり、理想的な環境は実現できていません。もっと気軽に利用できる仕組みが必要です。

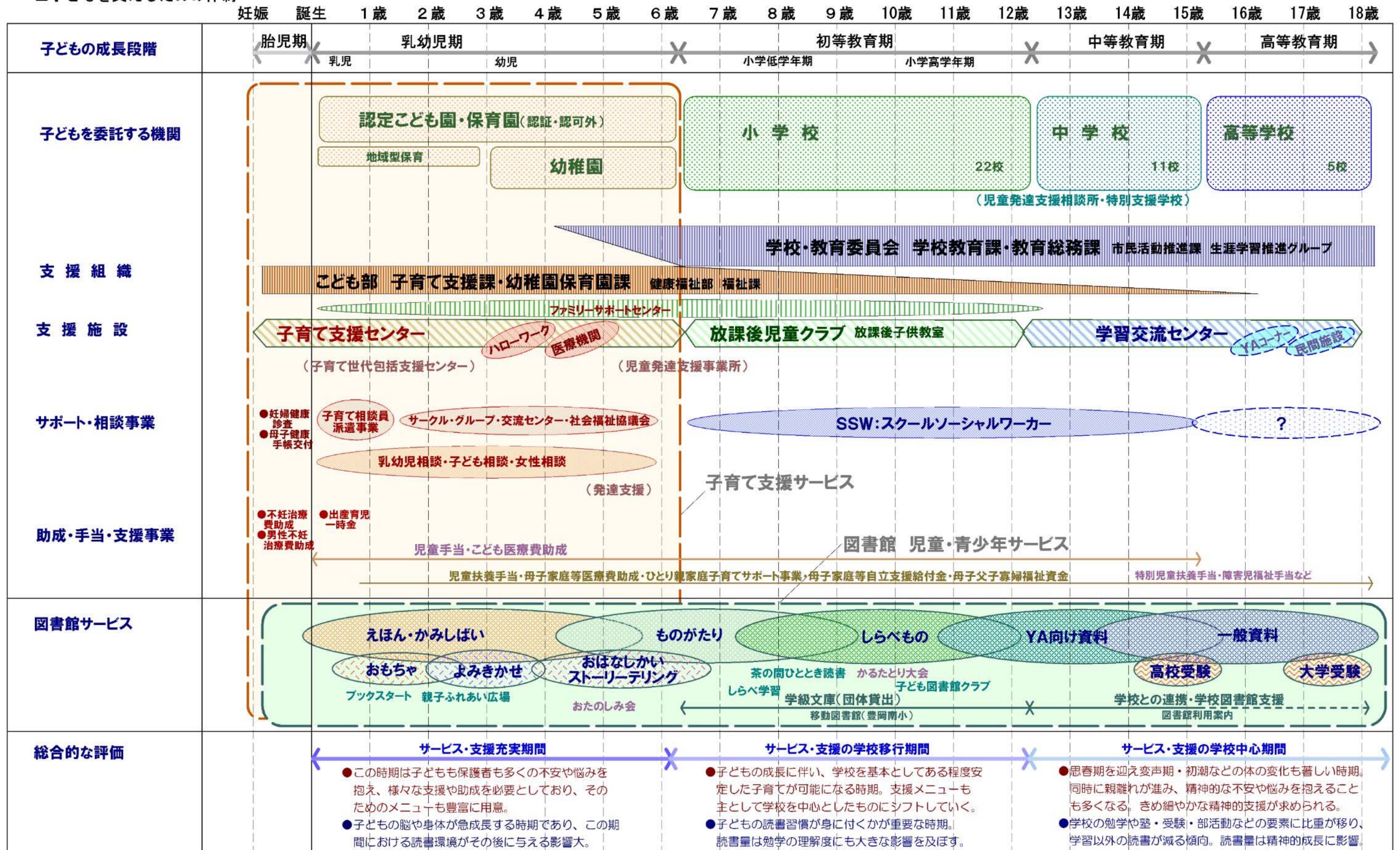
■磐田市子育て世代包括支援センターのイメージ



■子育て支援センターの活動概要

名称	場所	定員	職員数	開館時間	昼食	休館日	延長	定員	定員	食料	利用料金	備考
1. にっこにこ	1. プラザ	児童 2	職員 2	9:00~12:00 13:00~18:00	×	土日	×	700	基本 600 延長 120	実施	お茶・ミルクのみ	21195 1361
2. あいあい	児童中央 交流センター	児童 3	職員 3	8:30~17:00	×	月火	屋外 水遊び	600	基本 600 延長 120	実施	お茶・ミルクのみ	11860 97
3. こどもの家	電洋交流 センター	児童 2	職員 2	9:00~16:00	11:45~13:00	土日	×	700	基本、児童 保育士の友など	実施	昼食可	15797 1148
4. ニッセの部屋	豊田福祉 センター	児童 1	3	9:00~16:00	11:45~13:00	土日	×	200	基本、児童 保育士の友など	実施	昼食可	12784 400
5. ふわっと	福田こども園	児童 2	職員 2	9:00~12:00 13:00~18:00	×	日	月	350	基本、児童 保育士の友など	実施	火・金 お茶・ミルクのみ	20743 5879
6. のびのび	急ぎセンター	児童 2	職員 2	9:30~17:30	11:45~13:00	木	園庭	120	基本、児童 保育士の友など	実施	昼食可	20743 5879
7. ほのぼの	みなみし 保育園	児童 2	職員 2	9:00~12:00 13:00~18:00	×	日	園庭	180	基本、児童 保育士の友など	実施	お茶・ミルクのみ	6259 140
8. ぽけ	とみがわ 保育園	児童 2	職員 2	9:00~12:00 13:00~18:00	×	日	園庭	200	基本、児童 保育士の友など	実施	お茶・ミルクのみ	9141 123
9. エンジェル	こうのとり 保育園	児童 2	職員 2	8:30~13:30	11:30~12:30	金土日	園庭	150	基本、児童 保育士の友など	実施	昼食可	5194 52
10. こどもの森	城之崎 (独立施設)	児童 2	職員 2	10:00~15:30	12:00~13:00	水金土日	テラス 水遊び	400	基本、児童 保育士の友など	実施	週1回 昼食可	3206 180
								計 3600			計 106144	9480

■子どもを支えるための体制



子ども図書館計画で重視すべき項目

- 充実した子育て支援事業は必ずしも一般市民に理解されていない可能性がある。多様なメニューや情報を的確に伝えるための情報センターとして機能させたい。
- 子育て生活に必要な支援は、生活や習慣に係るものだけでなく、絵本や物語の読み聞かせなどによる情操教育と並行して行う必要がある。

→本来児童図書館と子育て支援サービスは一体として行うべきもの

- 小学校入学と同時に、子育て支援の軸は学校に移り、社会的支援システムは少なくなる傾向。しかし、子どもにとっての世界は学校以外にも広がっていることが大切。その支援を考える。
- 読書環境も学校や家庭事情に左右されやすくなる。学校図書館で満たされない資料世界を図書館がカバーしていく必要がある。

→小学生以上の支援は図書館の役割が大きくなる